

● 日本及びその周辺での主な地震活動

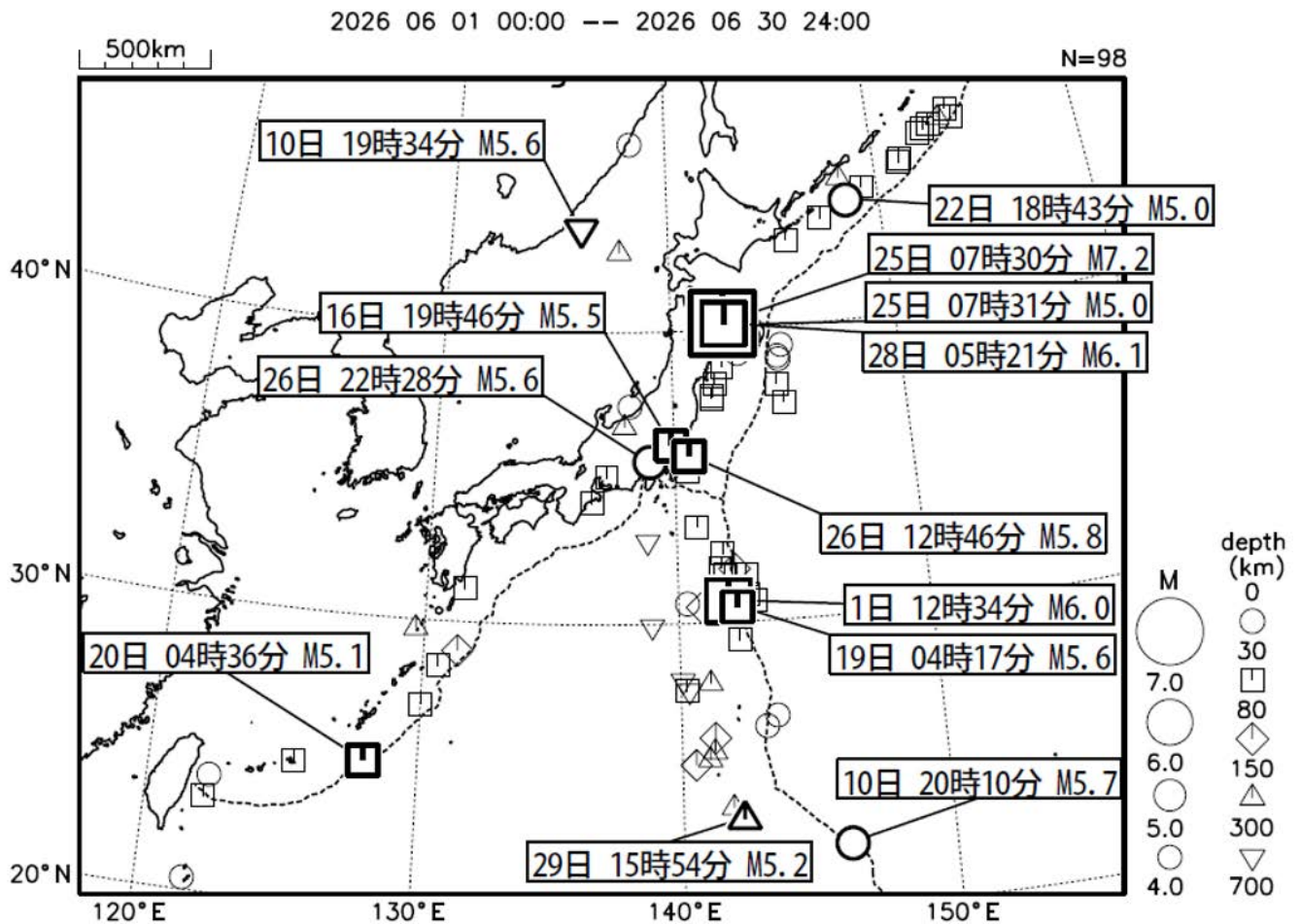


図1 令和8年6月に日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の震央分布図

(図中に日時分、マグニチュードを付した地震はM5.0以上の地震、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である。)

16日19時46分に茨城県南部の深さ50kmでM5.5の地震が発生し、埼玉県及び群馬県で震度5弱を観測したほか、東北地方南部から近畿地方にかけて震度4～1を観測した。気象庁はこの地震に対して、緊急地震速報（警報）を発表した。この地震により、負傷者2人などの被害が生じた（6月24日14時00分現在、総務省消防庁による）。

25日07時30分に岩手県沖の深さ44kmでM7.2の地震が発生し、青森県階上町で震度6強を観測したほか、北海道から中部地方にかけて震度6弱～1を観測した。気象庁はこの地震に対して、緊急地震速報（警報）を発表した。この地震により、岩手県の久慈港で0.1m（速報値）などの津波を観測した。この地震の震源付近では、28日05時21分にM6.1の地震が発生し、青森県八戸市と岩手県普代村で震度5弱を観測したほか、北海道から中部地方にかけて震度4～1を観測した。これらの地震により、負傷者17人などの被害が生じた（7月6日14時00分現在、総務省消防庁による）。

26日22時28分に山梨県東部・富士五湖の深さ20kmでM5.6の地震が発生し、山梨県富士河口湖町で震度6弱を観測したほか、福島県、関東地方、中部地方、近畿地方及び鳥取県で震度5強～1を観測した。気象庁はこの地震に対して、緊急地震速報（警報）を発表した。この地震により、負傷者22人の被害が生じた（7月6日14時00分現在、総務省消防庁による）。

(図の範囲外)

8日08時37分（日本時間）にフィリピン諸島、ミンダナオの深さ55kmでMw7.7の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震により、小笠原諸島の父島二見で17cmなど、小笠原諸島、伊豆諸島及び千葉県から沖縄県にかけての太平洋沿岸で津波を観測した。また、海外においても、フィリピンのミンダナオ諸島キアンバで1.48mなど^(注)の津波を観測した。

令和8年6月 地震・火山月報（防災編）

令和8年（2026年）6月に日本国内で震度4以上を観測した地震は6回（5月は4回）、日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の回数は98回（5月は100回）であった（図1）。

6月中に発生した主な地震を表1、震度1以上を観測した地震の震央を図2、M4.0以上の地震の震央を図3、震度4以上を観測した地震の震度分布図を図4に示す。6月中に震度5弱以上を観測した地震は4回、津波を観測した地震は2回であった（5月は震度5弱以上を観測した地震は2回、津波を観測した地震はなかった）。

（注）海外の津波の高さは米国海洋大気庁（NOAA）による（2026年7月6日現在）。

令和8年6月 地震・火山月報（防災編）

表1 令和8年6月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注1）（注2）（注3）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	M _w (注4)	M H S T (注5)	最大震度・被害状況等（注6、注7）	掲載 ページ
1	6 1 12 34	鳥島近海	6.0	5.7	M . . .		18
2	6 16 19 46	茨城県南部	5.5	5.4	. H S .	5弱：群馬県 太田市西本町＊ 埼玉県 埼玉美里町木部＊ 加須市騎西＊ など2県5地点 緊急地震速報（警報） を発表 長周期地震動階級1を観測 被害 ：負傷者2人など（6月24日14時00分現在）	5、12
3	6 25 7 30	岩手県沖	7.2	6.8	M H S T	6強：青森県 階上町道仏＊ 緊急地震速報（警報） を発表 長周期地震動階級2を観測 被害 ：負傷者17人など（7月6日14時00分現在） 津波観測 ：岩手県の久慈港で0.1m（速報値）など	6、77～ 105
	6 25 20 58	岩手県沖	4.8	4.6	. . S .	4：青森県 八戸市南郷＊	
	6 28 5 21	岩手県沖	6.1	5.8	M . S .	5弱：青森県 八戸市南郷＊ 岩手県 普代村銅屋＊ 長周期地震動階級1を観測	
4	6 26 12 46	千葉県北東部	5.8	5.8	. . S .	4：千葉県 匝瑳市八日市場ハ＊ 旭市南堀之内＊ 匝瑳市今泉＊ など2県31地点 長周期地震動階級1を観測	7、13
5	6 26 22 28	山梨県東部・富士五湖	5.6	5.3	. H S .	6弱：山梨県 富士河口湖町長浜＊ 緊急地震速報（警報） を発表 長周期地震動階級1を観測 被害 ：負傷者22人（7月6日14時00分現在）	106～124

（注1）主な地震とは、図1の領域内で発生した①M6.0以上、②震度4以上、③内陸 M4.5以上かつ震度3、④海域 M5.0以上かつ震度3、⑤その他注目した地震を指す。

（注2）震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

（注3）空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。

（注4）M_w欄の「—」はM_wが求められていないことを示す。

（注5）M H S Tの各項目について、M:M6.0以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度4以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

（注6）最大震度の観測点名にある＊印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。

（注7）一連の地震活動で被害が発生した場合、その被害は代表的な地震（一連の地震活動の中で最大の震度を観測した地震や最大の津波を観測した地震など）にまとめて記載している。

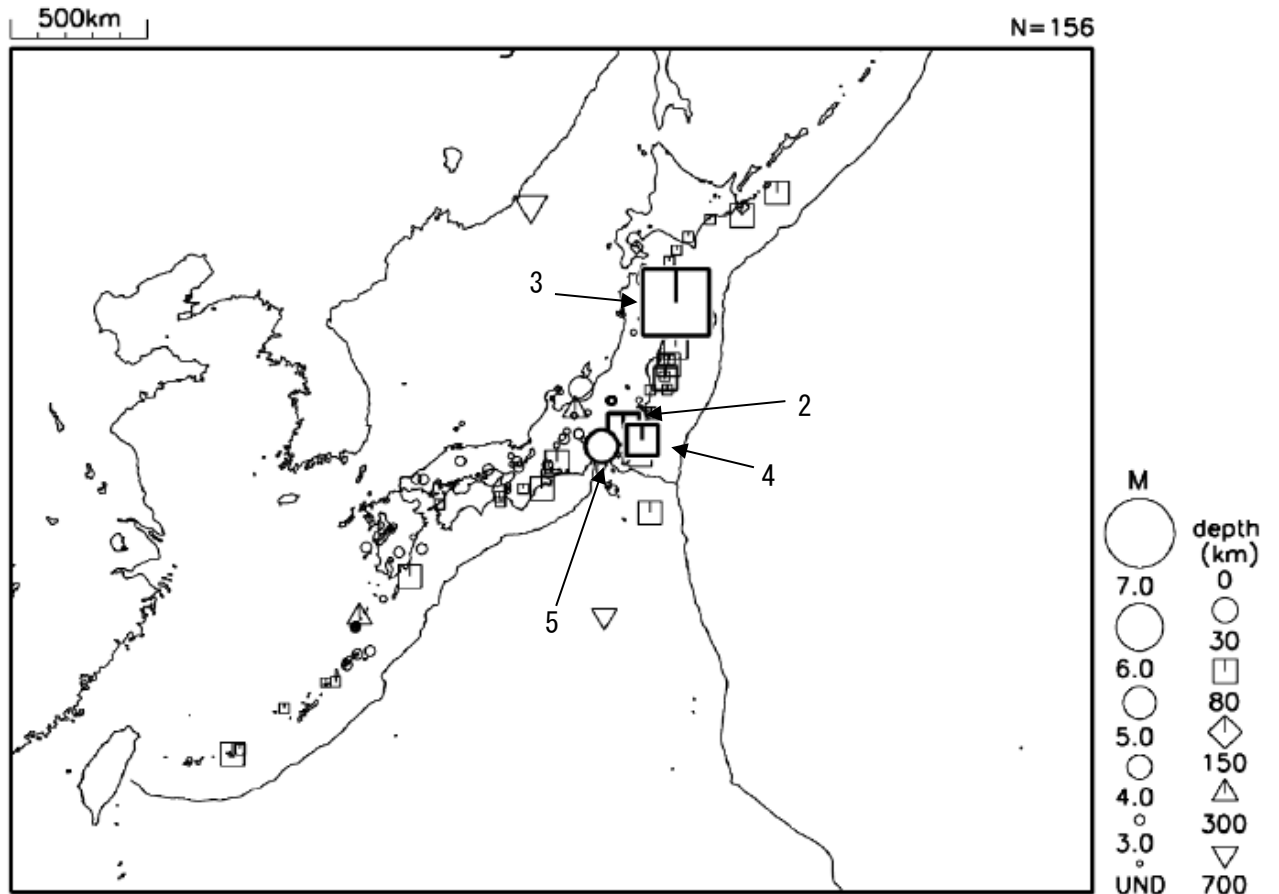


図2 令和8年6月に震度1以上を観測した地震（図中の番号は、表の番号に対応）

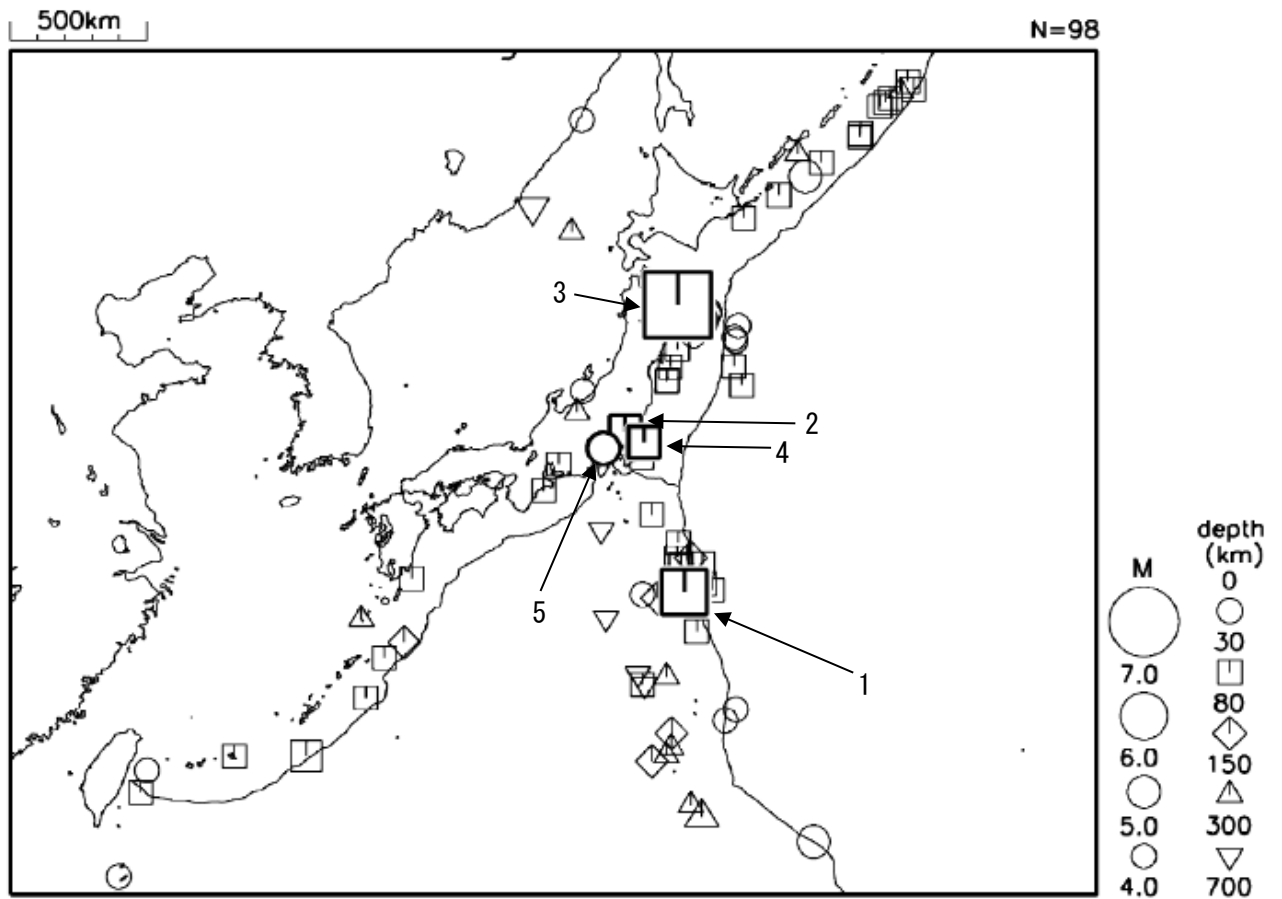


図3 令和8年6月に発生した M4.0 以上の地震（図中の番号は、表の番号に対応）